

名城大学機械会誌

発行所

名古屋市天白区塩釜口 1 丁目 501 番地
 名城大学理工学部機械工学科内
 名城大学機械会
 TEL (052) 832 - 1151 (代)
 FAX (052) 832 - 1235
 URL: <https://meijo-kikaikai.jp/>



名城大学機械会 第 68 回総会のご案内

下記のように第 68 回総会を開催します。

会員諸氏の多数のご出席を心よりお待ちしております。

名城大学機械会 会長 大野 達也

- 日 時** 令和 7 年 6 月 15 日 (日) 9:00 ~ 9:50
- 場 所** 名城大学天白キャンパス 共通講義棟南館 S402 教室
- 次 第** 司会者、開会の辞、会長と学科長の挨拶
 議長団選出 (議長・副議長・書記・議事録署名者)
 議事 ・ 令和 6 年度事業報告
 ・ 令和 6 年度会計報告及び監査報告
 ・ 令和 7 年度事業計画案
 ・ 令和 7 年度予算案
 ・ その他

機械会総会に続き理工同窓会が開催されます。

☆記念講演・・・10:30 ~ 11:50 共通講義棟北館 N101 (名城ホール)

講演タイトル 『大学の研究の社会実装に一番必要なこと』

講師

名古屋大学

未来材料・システム研究所

未来エレクトロニクス集積研究センター

センター長・教授

天野 浩 氏

☆総会・・・11:55 ~ 12:45 共通講義棟北館 N101 (名城ホール)

☆懇親会・・・13:00 ~ タワー 75 15 階レセプションホール



名城大学正門アプローチ 令和7年3月

令和7年に向けての思い

名城大学 機械会 会長 大野 達也
昭和58年卒



卒業生の皆さま方におかれましては
ますますご清栄のこととお喜び申し
上げます。

平素は、機械会の活動にご理解、ご協
力を賜り誠にありがとうございます。

令和6年の活動においては、会員各位への会報の発
行、機械会ゴルフ大会を実施してまいりましたが、機
械会会員との情報交換の企画を開催する機会を持つこ
とが出来ませんでした。また、機械工学科在学生行事
のスポーツ大会（バスケットボール大会）への支援を
行ってまいりました。但し、令和6年度卒業パーティー
は開催されなかったこともあり卒業パーティーへの支
援は未実施となりました。また自分も学生時代にお世
話になった福田康明先生が瑞宝小綬章を受賞されうれ
しく思いました。

令和7年では、会員の皆様に対し、機械会ゴルフ大
会を年2回開催、情報交流会など行い親睦を図るとと
もに会員各位の意見を伺い今後の活動に反映して行き
たいと思います。また、在学生に対してはスポーツ大

会への支援を行いOB会のPRを行います。新しい機
械工学科学科長と相談し卒業生に対しても在学生に対
してもより一層充実した支援が出来るよう内容の検討
も行う予定です。

また、機械会会員多くの方々の支援、ご鞭撻、ご協力
は必要不可欠です。最近OB会活動に参加頂ける機
械会会員の数が少なくなってきました。身近な卒業生
への声掛け等して頂き共に希薄になりつつある卒業生の
ネットワークを大切にしていきたいと思います。特に平
成卒業・令和卒業の方々に評議員になっていただき、卒
業生より多くの意見を収集し、機械会へ提案して頂くこ
とをお願いいたします。評議員となり多くの意見を発言
頂ける方の参加、推薦をお願い致します。

名城大学も2026年には開学100周年を迎えます。併
せて理工学部も学部創設100周年を迎えます。機械会
としても2027年には創設70周年を迎え卒業生の絆を
大切にしていける所存です。くれぐれもご支援をお願い
いたします。

■■■■■ 機械会からの重要なお知らせ ■■■■■

「名城大学機械会誌」の送付について

機械会では、毎年発行している会誌を平成28年度より、機械会ホームページにて印刷出力可
能な様式で公開しております。

卒業後、3年間は住所が校友会の名簿に登録されている方全員に会誌を送付しています。卒
業後4年目以降は会誌送付の継続をご希望される方の方に送付しています。会誌送付を希望さ
れる方は直接機械会事務局または、機械会HPの『問い合わせページ』から、「機械会誌の送
付」とご記入のうえお申込みください。（卒業年度と送付先住所も連絡ください。）

機械会HP <https://meijo-kikaikai.jp/>
※メニューで「お問い合わせ」を選択してください。



機械工学科の近況

機械工学科

学科長 清水 憲一

令和 7 年度から新たに学科長を務めることになりました清水です。日頃より、機械会の皆様には温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。今年は 112 名の学生が卒業し、新たに機械会会員となりました。簡単ではございますが、以下に近況を報告いたします。

今年度、機械工学科には新たに 119 名の新入生が入学しました。4 月 12 日と 13 日には、昨年度より再開した、宿泊を伴うフレッシュマンセミナーが実施され、入学間もない新一年生が親交を深める良い機会となりました。また、コロナ禍で開催を見合わせていたソフトボール大会が、一昨年前にバスケットボール大会となって復活しましたが、昨年はバレーボール大会として、「第 52 回機械会杯争奪研究室対抗スポーツ大会」が、9 月に名城大学体育館で開催されました。機械会からは、会長の大野様に出席いただき、学科からは多くの教員が選手として参加するなど、学生と教員、機械会の交流の場として大変貴重な行事を再開できたことを誠に嬉しく思います。

一方、こちらもコロナ禍で中断していた卒業記念パーティーですが、残念ながら昨年度も実施は見送りとなりました。以前はホテルで開催しておりましたが、昨今の物価上昇による参加費の値上がりによって、なかなか全ての学生が参加できる状況ではなくなっていることが原因です。今後は、会場の変更なども含めて開催方法の検討が必要と考えています。

さて、現在機械工学科の教員は 15 名で、今年度から池本有助先生が教授に昇任され、教授 11 名、准教授 4 名の体制となりました。私たち教員が感じている最近の変化は、就職活動の早期化と以前にも増して好調な就職状況です。学部生は 3 年生、大学院生は修士 1 年生が始まると、早々に就職サイトに登録してインターンシップにエントリーします。以前は、夏休みなど長期休暇中にインターンシップが行われることが多かったのですが、最近は講義期間中もインターンシップを理由に欠席するケースが多くみられるようになりました。幸いなことに機械工学科は優秀な学生が多く、インターンシップで内定の「お墨付き」を頂くことが多いのですが、その結果、院進学を考える前に就職を決めてしまう学部生が増えており、私たち教員は複雑な思いを

抱いています。また大学院生も、修士 1 年のかかなりの時間を就職活動に費やし、学生の本分である研究をする時間が減少していることに対して大いに危機感を感じています。そこで、このような社会情勢の変化を踏まえ、昨年度より、これまで 3 年生の後期に実施していた「ラボラトリーセミナー（ラボゼミ）」を前期に移動し、就職活動が始まる前に、研究の楽しさと大学院の魅力アピールするようにしました。大学院生についても、就職活動と研究の両立が可能な新たなしくみを考えていくことが必要と思われます。

ところで令和 6 年には、機械会の寄付によって、新たに 3D プリンター 2 台を購入することが出来ました。この装置は、機械工学科のカリキュラムの中で目玉となる科目「機械設計・製作」で使用するために導入したもので、製作品の最終発表会直前は、2 台ともほぼ 24 時間フル稼働するほど活用されていました。この場をお借りして、機械会の皆さまには厚く御礼申し上げます。

また、コロナ禍で中断していた海外の大学との交流プログラムも、今年度より復活する予定です。これは前述の「機械設計・製作」の受講生の中から数名が 1 週間ほど海外に渡航し、現地の大学の学生・教員と製作品の発表会を通じて国際交流を行う企画です。このように令和 6 年度は、コロナ禍で変わってしまった大学生活の多くが、完全にかつての日常に戻ってきた一年だったと感じています。

そしていよいよ来年度、本学は開学 100 周年を迎えます。いろいろな記念行事が行われる予定ですが、その中で最大の目玉となるのが「名城大学開学 100 周年記念アリーナ」の新築です。かつての 2 号館と 3 号館の跡地には、2025 年度中の完成を目指して工事が急ピッチで進んでいます。完成の暁には、これまで愛知県体育館で実施していた入学式を、このアリーナで 2 回に分けて実施するそうです。なので、来年の会報では、アリーナでの入学式の様子を皆様にお届け出来ると思います。

今後とも機械会の皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年度の就職状況

機械工学科 就職・進路支援委員

久保 貴

2024年度(2025年卒)の就職活動は前年度よりもさらに選考(内々定)が早まったという印象でした。夏の長期インターンシップやその後のインターンシップ等への参加者に早期選考の案内があり、かなり早い時期に内々定を頂いた学生が多くいました。特に大学院生の早期選考が顕著でした。また学部については、学校推薦の時期が成績確定後となるため、早期選考での内々定者に後付推薦を求める企業が多くなっています。このように学生の囲い込みともいえる状況が多くなっていることから、学校推薦の形骸化が進む恐れが出ております。

大学に面談に訪れる企業様は主に中小規模の担当者の方で、「名城大学機械工学科の学生を採用したい」と多くの求人をいただきました。幅広い業界から機械工学技術者が求められており、本学科がそのような人材養成機関として社会的にも期待されていることが窺えます。このように社会的に高い評価を頂けているのも、本学科卒業生の皆様のこれまでのご活躍による賜物と考えられます。学科を代表してここに感謝申し上げます。

2024年度の就職希望者の内定率は引き続き、大学院、学部ともに100%、すなわち就職希望者全員の進路が決定いたしました。就職先は大部分が製造業で、自動車関連業種、工作機械メーカー等への就職が目立っております。また大学院への進学者は36名(昨年度34名)で、例年の進学率(20~30%)と同程度となりました。ただし、成績優秀者ほど早期選考で内々定をいただき、研究室に配属されるときにはすでに就職を決めている状況が続いています。学科としても対応を考えており、より多くの学生が大学院に進学し、高度な学問を身につけた技術者として社会で活躍することを強く期待しております。

今後とも社会から必要とされる機械技術者たる人材を輩出することが本学科の責務と捉え、それに向けて教員一同今後も努力を続けていきたいと決意を新たにしております。機械会の皆様におかれましては今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご参考までに、就職先企業一覧を掲載いたします。

「大学院」

株式会社アイシン、アイシン機工株式会社、朝日インテック株式会社、オリンパス株式会社、ジヤトコ株式会社、シンフォニアテクノロジー株式会社、新明和工業株式会社、高砂電気工業株式会社、WDB工学株式会社、株式会社デンソー(5)、デンソーテクノ株式会社、豊田合成株式会社、トヨタ自動車株式会社(2)、株式会社豊田自動織機、トヨタ車体株式会社、日本碍子株式会社、パナソニック株式会社、株式会社FUJI、三菱電機株式会社、ヤマザキマザック株式会社

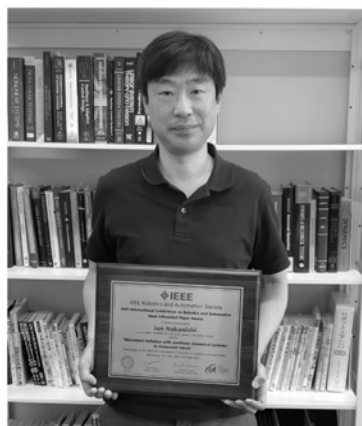
「学部」

愛三工業株式会社(3)、株式会社アイシン(2)、愛知機械工業株式会社、アイホン株式会社、株式会社青山製作所、株式会社アドヴィックス、オーエスジー株式会社、大垣市役所、オークマ株式会社(3)、株式会社オーバー、株式会社カナモト、岐阜車体工業株式会社、株式会社クイック、株式会社小糸製作所、株式会社興和工業所(2)、スクールIE、住友電装株式会社(2)、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社、大豊工業株式会社(2)、高砂熱学工業株式会社、株式会社タニタ、株式会社タマディック、中央精機株式会社、中菱エンジニアリング株式会社(4)、株式会社T-TOP、デンソーテクノ株式会社(7)、TOPPAN株式会社、株式会社豊田自動織機、トヨタ車体株式会社、トヨタテクニカルディベロップメント株式会社、豊田鉄工株式会社、トヨタ紡織株式会社(10)、名古屋市役所、株式会社ニデック、萩原電気ホールディングス株式会社、浜松光電株式会社、光精工株式会社、株式会社FUJI(2)、フタバ産業株式会社、株式会社松田電機工業所、三菱重工業株式会社、三菱電機エンジニアリング株式会社、三菱電機ビルソリューションズ株式会社(2)、株式会社メイテック(2)、メイラ株式会社、株式会社メニコン、矢留工業株式会社、ヤマザキマザック株式会社、リンナイ株式会社

進学：名城大学大学院(35)、名古屋大学大学院

トピックス

理工学部機械工学科の中西淳教授がIEEE International Conference on Robotics and Automation Most Influential Paper Awardを受賞



受賞者 中西淳教授（理工学部機械工学科）
 受賞名 IEEE International Conference on Robotics and Automation Most Influential Paper Award
 受賞日 2024年5月16日
 受賞テーマ
 Movement imitation with nonlinear dynamical systems in humanoid robots
 (和訳：非線形力学系を用いたヒューマノイドロボットにおける見まね学習)

本賞は、過去18年前～22年前の5年間のIEEE International Conference on Robotics and Automationで発表された全論文の中で、ロボティクスおよび自動化分野においてその後最も大きな影響を与えた論文に贈られる賞です。本論文は、非線形力学系と統計的学習手法を用いて人の動作を見まね学習により学習し、ロボットの動作生成を効率的に行う手法を提案したものです。2002年のIEEE International Conference on Robotics and Automationで発表されて以来、本論文は数多く引用され、ロボットの動作生成の手法として幅広く用いられています。さらに、本手法はこの20年間に於いて様々な発展を遂げ、現在においても最先端のロボットの運動学習手法の基礎として使われています。

理工学研究科の土田将也さんが日本機械学会で若手優秀講演フェロー賞を受賞



受賞者 土田 将也さん（理工学研究科 機械工学専攻 修士課程2年、池本研究室）
 ※発表時修士課程1年
 受賞名 日本機械学会 若手優秀講演フェロー賞
 受賞日 2024年7月19日 ※発表日：2024年3月
 受賞テーマ
 多脚ロボットにおける脚間の動作位相差の評価

本賞は2024年3月に開催された、日本機械学会東海支部・講演会講演会における優秀な研究・講演を行ったもののうち、フェロー賞審査が実施され、表彰対象者に対して「若手優秀講演フェロー賞」として顕彰するものです。

本研究では、受賞者の土田さんは、12個のブラシレスDCモータを使った12脚のムカデロボットを製作し、そして歩行制御実験を行いました。特に、ブラシレスDCモータ駆動力をダイレクトに脚の動きに伝達させ、床からの反力をそのモータの動きに反映させることを可能とする、バックドライ・パビリティによって、脚の柔らかい回転をすべての脚に実装しました。さらに、各モータに厳密なベクトル制御系を組むことでトルク制御を実装しました。それぞれの脚における角度、角速度、角加速度、及び回転負荷といった、モータの状態を、高速で並列に計測・記録することが可能で、さらに計測したデータをもとにオンラインでトルク制御が可能です。本発表では、ムカデ全体の身体の動きと各脚間の位相差を計測・変化を分析しました。現在、本研究成果をもとに、機械学習などを通じて故障から自律復帰するロボット設計工学を推進しています。

理工学部機械工学科の学生らが第56回学生会卒業研究発表講演会でBest Presentation Awardを受賞



左から、中村さん、若杉さん、三輪さん、古川さん、渡邊さん

受賞者 古川 寛也さん（理工学部機械工学科 4年生、大島研究室）
 渡辺 協汰さん（理工学部機械工学科 4年生、大島研究室）
 中村 滉介さん（理工学部機械工学科 4年生、清水研究室）
 三輪 凌也さん（理工学部機械工学科 4年生、池本研究室）
 若杉 洋正さん（理工学部機械工学科 4年生、池本研究室）
 受賞名 日本機械学会東海学生会 TOKAI ENGINEERING COMPLEX 2025 (TEC25)
 第56回学生会卒業研究発表講演会 Best Presentation Award
 受賞日 2025年3月12日
 受賞テーマ

- ・古川 寛也さん「3DLiDAR とカメラを用いた筋電肩義手の運動制御」
- ・渡辺 協汰さん「単眼カメラによるテニスコートを含んだ姿勢推定に関する研究」
- ・中村 滉介さん「シリカ粒子充填エポキシ樹脂の疲労試験とひずみ変化」
- ・三輪 凌也さん「ソレノイドアクチュエータを分散配置したテンセグリティ・ヒレの協調運動」
- ・若杉 洋正さん「ボディ剛性とアクチュエータに柔軟さを付与したテンセグリティ四脚ロボットの開発」

本賞は2025年3月12日に開催された、日本機械学会東海学生会 TOKAI ENGINEERING COMPLEX 2025 (TEC25) 第56回学生会卒業研究発表講演会にて、優秀な研究発表に与えられる賞です。本講演会では、東海地区の大学・高専の卒業生が研究発表や討論を行う場で、本賞は100件の発表中12名が選出されました。このうち、上記の工学部、機械工学科の学生5名が本賞に選ばれました。

今回受賞した5名は2024年3月に卒業し、同年4月から工学部、機械工学専攻（修士課程）に進学する予定です。本研究成果をもとに、更なる機械工学に関わる研究を推進しています。

トピックス

理工学部機械工学科の林 拓磨さんが日本設備管理学会東海支部学生研究発表会で支部長賞を受賞



受賞者 林 拓磨さん（理工学部機械工学科4年、成田浩久教授研究室）
 受賞名 一般社団法人日本設備管理学会東海支部 令和6年度学生研究発表会 支部長賞
 受賞日 2025年2月27日
 受賞テーマ 鋼板搬送用ロール軸受の付け替え検査の技能分析

本研究では、鋼板搬送用ロール軸受のアダプタスリーブ付け替え作業を対象に解析を行い、技能分析を試みた。ここでは、アダプタスリーブの一方所だけを叩いてまっすぐ挿入できる理由を有限要素解析により分析したところ、スリーブと軸受けの間の応力が正負に交互に入れ替わることにより、まっすぐ入る現象を確認した。また熟練者のほうが、応力の正負のばらつきが少ないことも分かった。この発表が設備管理・ものづくり分野に関する優れた研究発表として認められた。

機械会支援行事

第52回名城大学機械会杯争奪スポーツ大会

日時：令和6年9月6日（金）

場所：名城大学新体育館2階1号室

昨年度はバスケットボール大会を実施しましたが、今回、学生の希望が多いバレーボール大会がおこなわれました。参加者は、4年生、院生含め114名の大会となりました。三位決定戦を含め13回戦が行われ、清水研究室が熱戦を勝りました。

順位は以下の通りです。

優勝	清水研究室
準優勝	松原研究室
三位	久保研究室

開会式は、大島学科長の挨拶、機械会の大野達也会長の挨拶・選手宣誓ではじまり10時20分から、バレーボールの試合が開始されました。閉会式は、機械会の森澤厚副会長より、優勝旗授与と祝辞があり、記念写真を撮り閉会しました。



第 18 回機械会賞受賞のことば

池本研究室
水野 智貴



この度は機械会賞という栄誉ある賞を頂けたこと、大変光栄に感じております。大学に入学して以来、私は将来社会に貢献できる技術者になることを目指して日々勉強に取り組んできました。今までの努力をこのような形で評価して頂けたことを大変うれしく思います。大学生生活 4 年を振り返ると楽しかったことや辛かったことなど色々なことがありました。入学当初はコロナウイルスの影響による活動の制限や遠隔授業などでイメージしていた大学生生活を送れず悔しさが残りました。しかし、2 年以降は制限も緩和され、遠隔授業もほとんど無くなり忙しくも充実した大学生生活を送れました。特に 3 年の設計・制作や 4 年の卒業研究では大きく成長を実感することができました。

設計・製作では、仲間と意見を出し合いロボットの設計から製作まで行いました。これまでの授業では座学が主体で実習でも機械の扱い方など基本的なことしかやってきませんでした。そのため、一からモノづくりをすることの難しさを痛感すると共に、仲間と協力して一つの事をやり遂げる達成感も感じられとてもいい経験になりました。

卒業研究では、「モノの受け渡し層を有する搬送移動ロボットの開発」に関する研究を行いました。搬送移動ロボット同士でのモノの受け渡しの実現を目指し、試作機の製作から実験まで行いました。研究が行き詰った際には同研究室の先輩方や友人、池本先生から助言を頂き試行錯誤することで進めることができました。その過程の中で問題を解決する力を養うことができたと思います。また、発表の際には自分の考えを相手に伝えることの難しさや大切さを感じることができました。

今回このような賞を頂きましたのも、親切に指導して下さった池本先生をはじめ、熱心に授業をして頂いた機械工学科の先生方、研究においてご助力、ご助言頂いた先輩方、共に勉学に励んだ大学の友人、そして生活面を支えて下さった家族など多くの方々の協力があった結果だと感じております。この場を借りて、皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。大学院進学後も慢心せず勉学や研究により一層励む所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。また、大学院卒業後は大学生活で培ってきた経験を活かし社会に貢献できる技術者になれるよう日々研鑽を重ねていく所存です。最後に、名城大学機械会の今後の益々の発展を心よりお祈り申し上げて受賞の挨拶とさせていただきます。

機械会賞の第 13 回から 17 回の受賞者

第 13 回 令和 1 年度※		第 16 回 令和 4 年度※	
氏 名	所属研究室	氏 名	所属研究室
中嶋 優人	中西ゼミ	大藏 芳斗	中西ゼミ
第 14 回 令和 2 年度※		第 17 回 令和 5 年度	
氏 名	所属研究室	氏 名	所属研究室
神谷 友彰	清水ゼミ	清水 康喜	中西ゼミ
第 15 回 令和 3 年度※			
氏 名	所属研究室		
天弘 篤秀	アブラハゼミ		

※機械会誌第 57 号 (令和 5 年発行) と第 58 号 (令和 6 年発行) において第 13 回～16 回の受賞者の年度に間違いがありましたので今号より訂正しました。

令和 6 年度 名城大学機械会事業報告（案）

令和 6 年度の事業経過は以下の通りです。

1. 令和 6 年度第 67 回総会
 - ・日時：令和 6 年 6 月 9 日（日）9：00～
 - ・会場：名城大学共通講義棟南館 S402 講義室
2. 評議員会・役員会
 - ・第 1 回評議員会 令和 6 年 4 月 6 日（土）
 - ・第 2 回評議員会 令和 6 年 4 月 20 日（土）
3. 名城大学機械会誌第 58 号を発行し、機械会ホームページに掲載
あわせて、正会員の送付希望者および準会員（在校生）へ配布
4. 第 52 回名城大学機械会杯争奪スポーツ大会（バレーボール）
開催日：令和 6 年 9 月 6 日（金）
 - ・支援金の支給
 - ・開会式（大野会長）・閉会式（森澤副会長）参加
5. 令和 6 年度機械会賞を池本研究室・水野 智貴君へ授与
（機械会特別賞については応募者なし）
6. 第 16 回機械会杯ゴルフ大会の開催
開催日：令和 6 年 11 月 16 日（土）
コース：トーシンさくらヒルズゴルフクラブ
参加数：18 名
優勝の昭和 50 年卒・野村 隆 氏に機械会杯が授与された。

7. 理工同窓会および各学科同窓会主催行事への参加
 - ・令和 6 年 10 月 26 日（土）電 気 会 秋季交流会
 - ・令和 6 年 11 月 7 日（木）理 工 学 部 学部長との情報交換会
 - ・令和 6 年 11 月 9 日（土）建築同窓会 情報交換会
 - ・令和 6 年 12 月 1 日（日）情 報 会 創立 20 周年記念事業
 - ・令和 6 年 12 月 7 日（月）材 料 会 創立 20 周年祝賀会
 - ・令和 7 年 2 月 9 日（日）校 友 会 令和七年賀詞交歓会
 - ・令和 7 年 3 月 12 日（水）理 工 学 部 退職者送別会

なお、計画では上記事業の他、令和 6 年度事業計画案として下記事業も計画しておりましたが、諸事情により中止いたしましたことをご報告致します。

※中止となった事業計画

1. 機械会会員交流会
2. 卒業記念パーティーへの援助
（実行委員会審議の結果、卒業記念パーティーが開催されなかったため）
3. 機械工学科教員と機械会役員との懇談会
4. 各研究室のゼミ長と機械会役員との懇談会
5. 機械工学科への支援

令和 7 年度 名城大学機械会事業計画（案）

本会会則に掲げる本会の目的達成に必要な事業を行うほか、本年度は特に次の事業を中心として活動する。

1. 令和 7 年度第 68 回総会
 - ・日時：令和 7 年 6 月 15 日（日）9：00～
 - ・会場：名城大学共通講義棟南館 S402 講義室
2. 評議員会・役員会
3. 名城大学機械会誌第 59 号を発行し、機械会ホームページに掲載
あわせて、正会員の送付希望者および準会員（在校生）へ配布
4. 機械会員交流会
5. 第 53 回名城大学機械会杯争奪スポーツ大会への援助
6. 令和 7 年度卒業記念パーティーへの援助
7. 名城大学開学 100 周年事業へ寄付
8. 機械工学科教員と機械会役員との懇談会
9. 機械工学科卒業生への機械会賞及び機械会特別賞の贈呈
10. 機械会杯ゴルフ大会の開催（本年度 春・秋 2 回開催）
 - 第 17 回：開催日：令和 7 年 4 月 12 日（土）
 - 第 18 回：開催日：令和 7 年 10 月 3 日（金）
 - コースはいずれもトーシンさくらヒルズゴルフクラブを予定
11. 機械工学科への支援
12. 理工同窓会および各学科同窓会主催行事への参加
13. その他、本会の目的達成に必要と認められる行事

令和6年度 名城大学機械会 会計報告(案)

貸借対照表

(令和7年3月31日 現在) [単位:円 消費税込み]

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	0	運営資金積立引当金	12,148,876
ゆうちょ銀行普通預金	1,991,481	「機械会賞」基金引当金	1,981,255
ゆうちょ銀行定期預金	13,000,000	70周年記念積立引当金	800,000
		剰 余 金	61,350
合 計	14,991,481	合 計	14,991,481

収支計算書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日) [単位:円 消費税込み]

科 目	予 算	決 算	備 考
収入の部			
前年度繰越金	0	0	
新入会員会費	1,250,000	1,130,000	令和6年度卒業生 113名分
理工同窓会援助金	300,000	246,300	助成金
繰入金	1,020,000	0	* 運営資金積立金より繰入れ
雑収入	0	0	
合 計	2,570,000	1,376,300	
支出の部			
会誌発行費	400,000	410,300	第58号印刷代等
行事費	1,300,000	305,680	学内行事援助金等
会議費	150,000	25,650	役員会(2回)
事務費	50,000	1,320	振込手数料等
『機械会賞』表彰金	20,000	10,000	
HP/ウェブサイトメンテ費	200,000	132,000	HP/ ウェブサイトメンテナンス保守費用
70周年記念積立金	400,000	400,000	
予備費	50,000	30,000	他同窓会交流会祝儀等
計	2,570,000	1,314,950	
剰余金	0	61,350	
合 計	2,570,000	1,376,300	

剰余金処分案
本年度剰余金

61,350 円は次年度繰越金として処分するものとする。

会計監査報告

種々調査の結果、収支ともに相違なきことを証明します。

会計監査 中村達郎 印

令和7年度 名城大学機械会 予算(案)

(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日) [単位:円 消費税込み]

科 目	予 算	備 考
収入の部		
前年度繰越金	61,350	
新入会員会費	1,430,000	143 名[令和7年度卒業予定者]
理工同窓会援助金	268,000	下部組織助成金
繰入れ金	1,170,131	内訳:運営資金積立引当金より 1,148,876 円 「機械会賞」基金引当金より 21,255 円
雑収入	0	寄付, 利息等
合 計	2,929,481	
支出の部		
会誌発行費	500,000	第59号印刷, 機械会封筒代, 郵送代
行事費	700,000	学生行事援助等
会議費	100,000	評議員会, 役員会, 編集会議, 各種委員会等
事務費	20,000	事務用品, はがき, 郵送費等
『機械会賞』表彰金	20,000	「機械会賞」として表彰された卒業生への表彰金(10,000円/名)
HP/ウェブサイトメンテ費	135,000	HP/ ウェブサイトメンテナンス保守費用
70周年記念積立金	400,000	* 設立70周年記念事業のための積立て引当金
開学100周年記念寄付引当金	1,000,000	* 開学100周年に伴う名城大学への寄付金
予備費	54,481	
合 計	2,929,481	

第18回機械会杯ゴルフ大会開催のご案内

拝啓 会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、機械会会員相互の交流を図ることを目的に、「名城大学機械会ゴルフ大会」を下記の要領にて開催いたします。

記

- 1 日 時 2025年10月3日(金)(平日) 8時までにパター練習場付近に集合
記念写真撮影・連絡事項 8時30分からアウト・イン同時スタート
- 2 場 所 トーシンさくらヒルズゴルフクラブ
- 3 住 所 岐阜県関市武芸川町八幡19-1 TEL 0575-33-4333
- 4 会 費 プレー代 9,000円前後(個人精算)
(ハーフコンペ・昼食・パーティ1ドリンク付き)
- 5 競技方法 ダブルベリア方式：打数制限(ダブルパーまで) HC上限36
使用ティ： 70歳以上はシルバー ・ 一般は白
ニアピン： 各ショートホール ドラコン：チェリー1番、カメラ4番
6インチブレース・カップインは必ず実施すること。OKパットはなし。
- 6 賞 品 機械会からの支援金があります。
優勝、2位、3位、7位、10位、BB賞、参加賞
- 7 参加人数 5組(20名)
- 8 申し込み メール又はFAXにてエントリー願います。
- 9 締め切り 定員になり次第、締切りします。

担当：横幕



第16回機械会杯ゴルフ大会 参加のみなさん 2024年11月16日

宛先 名城大学機械会 FAX 052-400-2190

機械会 ゴルフ大会 参加エントリーします。

	お名前	連 絡 先 (住所)	卒業年度
		電話番号(携帯)・FAX	生年月日

申込締切日：予定を組み入れ、早めの予約をお願いします。

【問合わせ先】 Tel 052-408-1529 Fax: 052-400-2190 【機械会：横幕 勝治(S62)】
: E-mail : < yokomaku@howa.co.jp >